1　農作業安全推進の背景・目的と概要

テキストページ

P.2～P.10

※　事故データ等の内容はリニューアルされています

※　被災者の治療後の患部の写真が含まれていますので、苦手な方はご注意ください。

１ 農作業事故が引き起こすもの

テキストページ
P.2～P.3

皆さんが日頃、農業者と関わる際に、こう感じたことはありませんか？

- 「安全」にはまったく関心を持ってもらえない
- 農作業事故の話をしても、どこか他人事

多くの方が「農作業事故は自分とはあまり関係ない」
他人事と言えるのでしょうか？






２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.4

農作業事故の発生状況

死亡事故（農林水産省2026）

- 減少傾向にあった死亡事故数が一転、増加（２３６人 ⇨ ２８７人）
- 10万人あたり死亡事故数は、建設業の３倍、全産業の１３．５倍とさらに開く

負傷事故

- 全国統計はないが、ＪＡ共済連の推測によれば・・・

後遺障害事故は死亡事故の約２倍、傷害事故は約２６６倍の年間6.4万件、１日あたり約１７７件と推定

⇩

誰の身に起きても不思議ではない状況

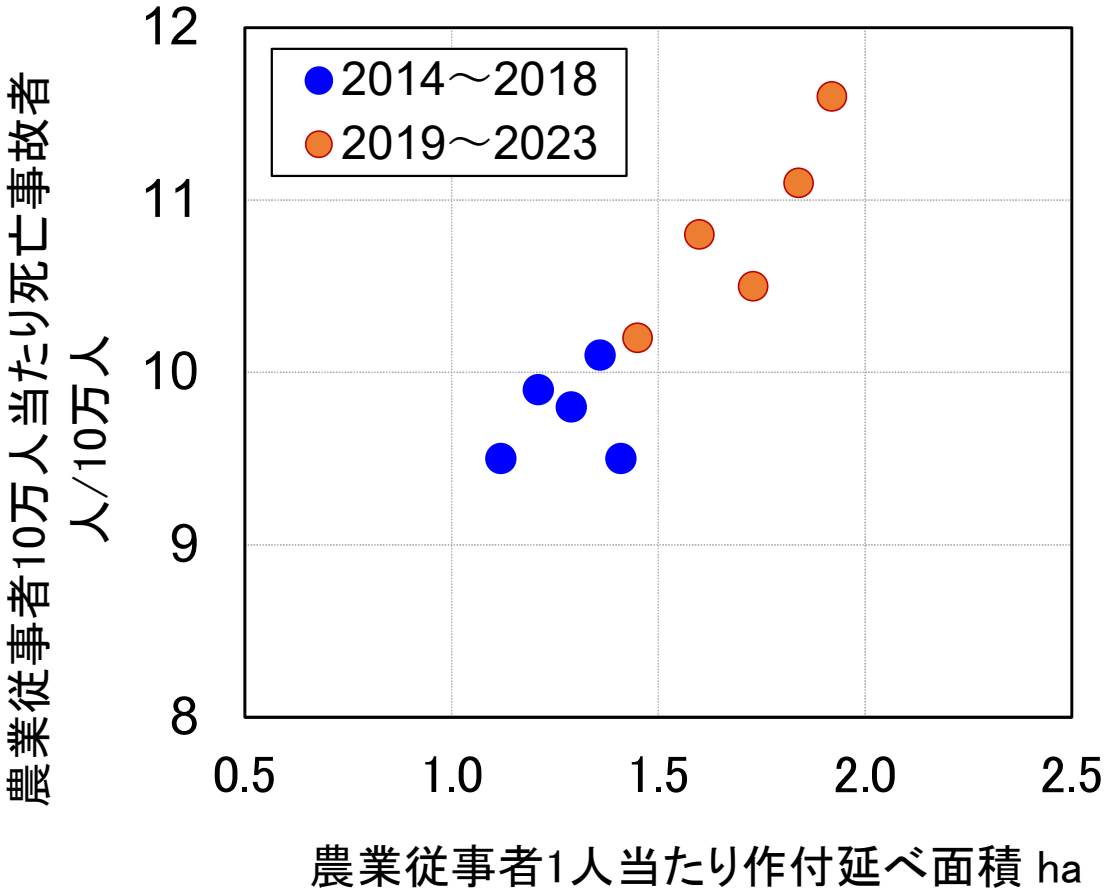
農作業事故は決して他人事ではない！

２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
新規

作付け延べ面積の増加と農作業死亡事故

- １人あたり作付延べ面積の増加に伴い、死亡事故発生確率が上昇
- 作付面積の拡大が、団地化・集積化よりも離農の吸収等による小区画・分散ほ場の増加にあると思われ、担い手への負担が増加
- 担い手の事故遭遇リスクは年々高まる傾向に

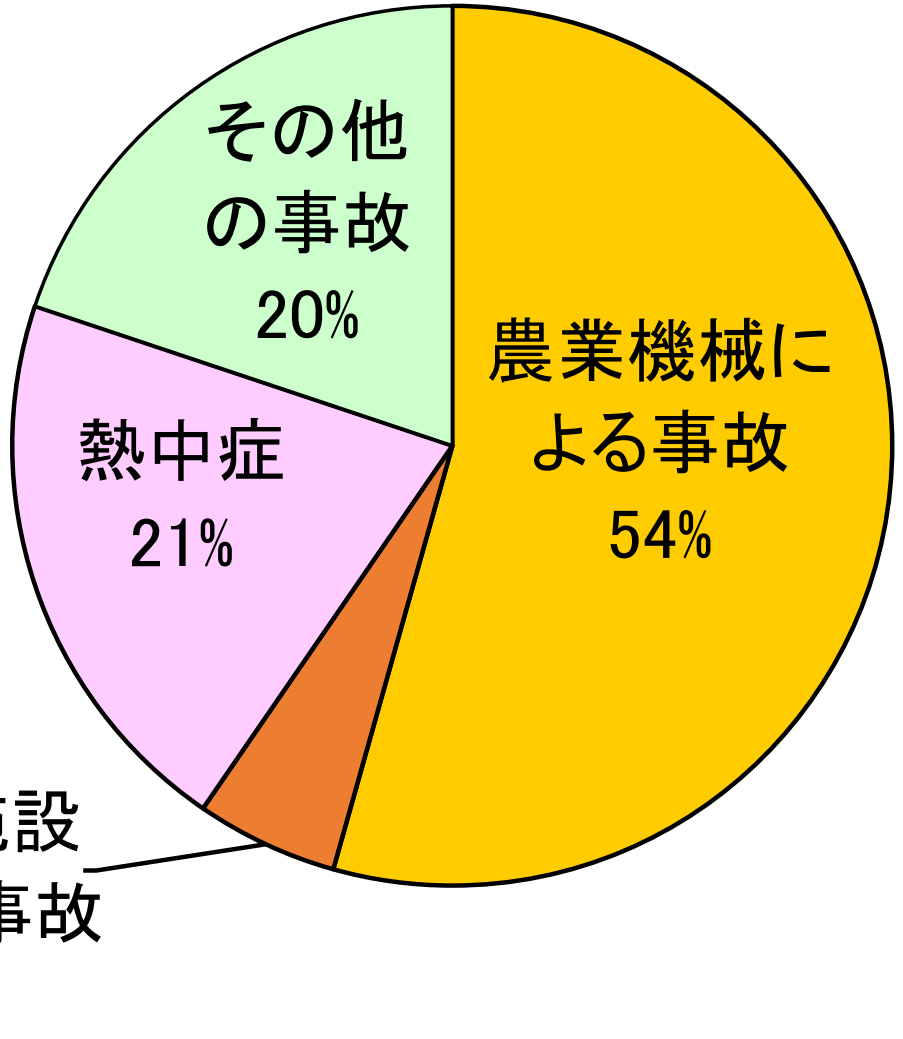


２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.5

農作業死亡事故の内訳（農林水産省2026）

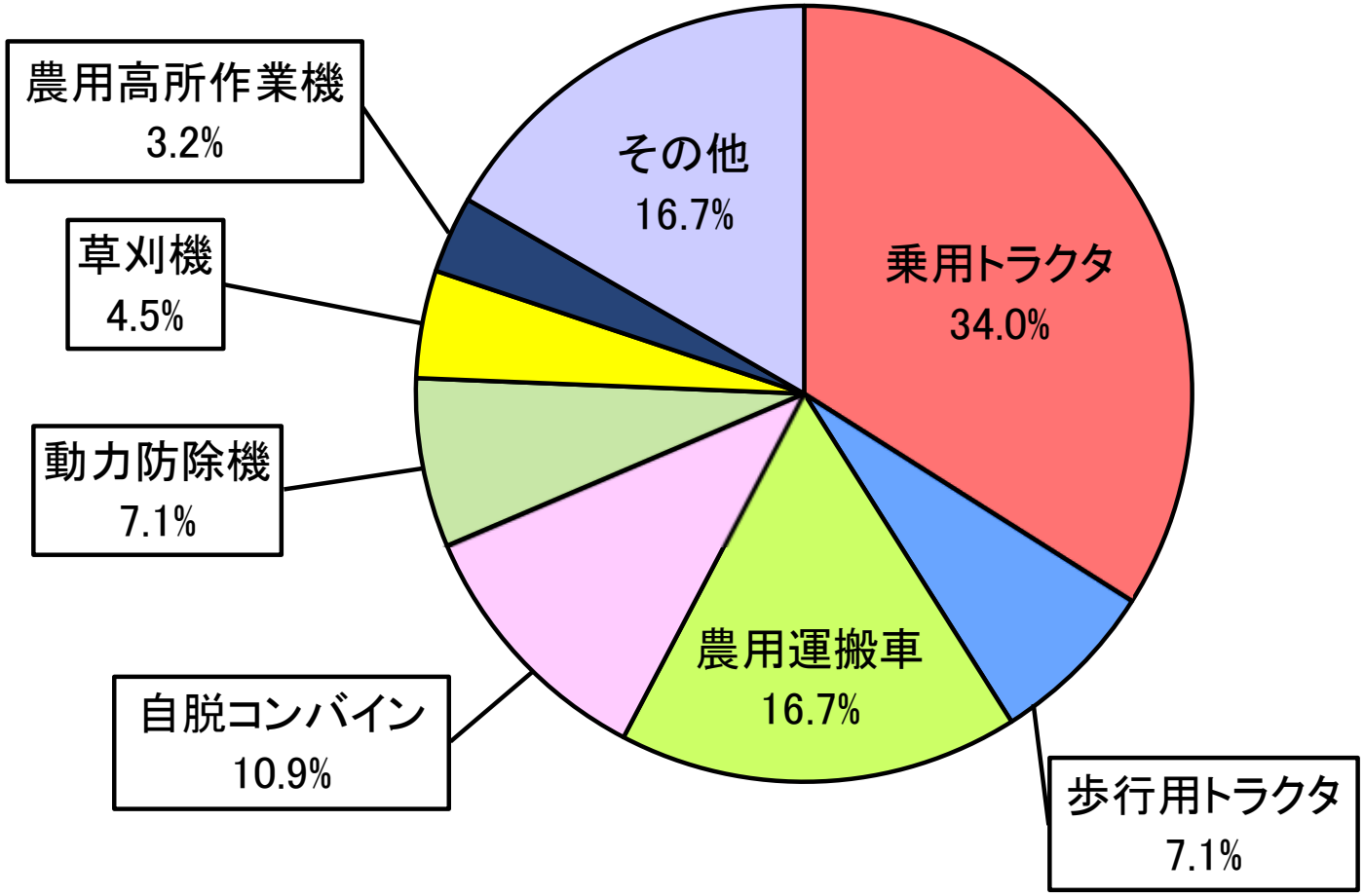
- 農業機械による事故が最多を占める
- 負傷事故の場合、北海道では牛との接触による事故が最多で年間約７００件（農業機械による事故件数を上回る）
- 府県でも潜在的に多発の可能性



２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.5

農業機械による死亡事故の内訳（農林水産省2026）





転落転倒が最多

１位

乗用トラクタ



転落転倒が最多

２位←３位

農用運搬機



転落転倒が最多

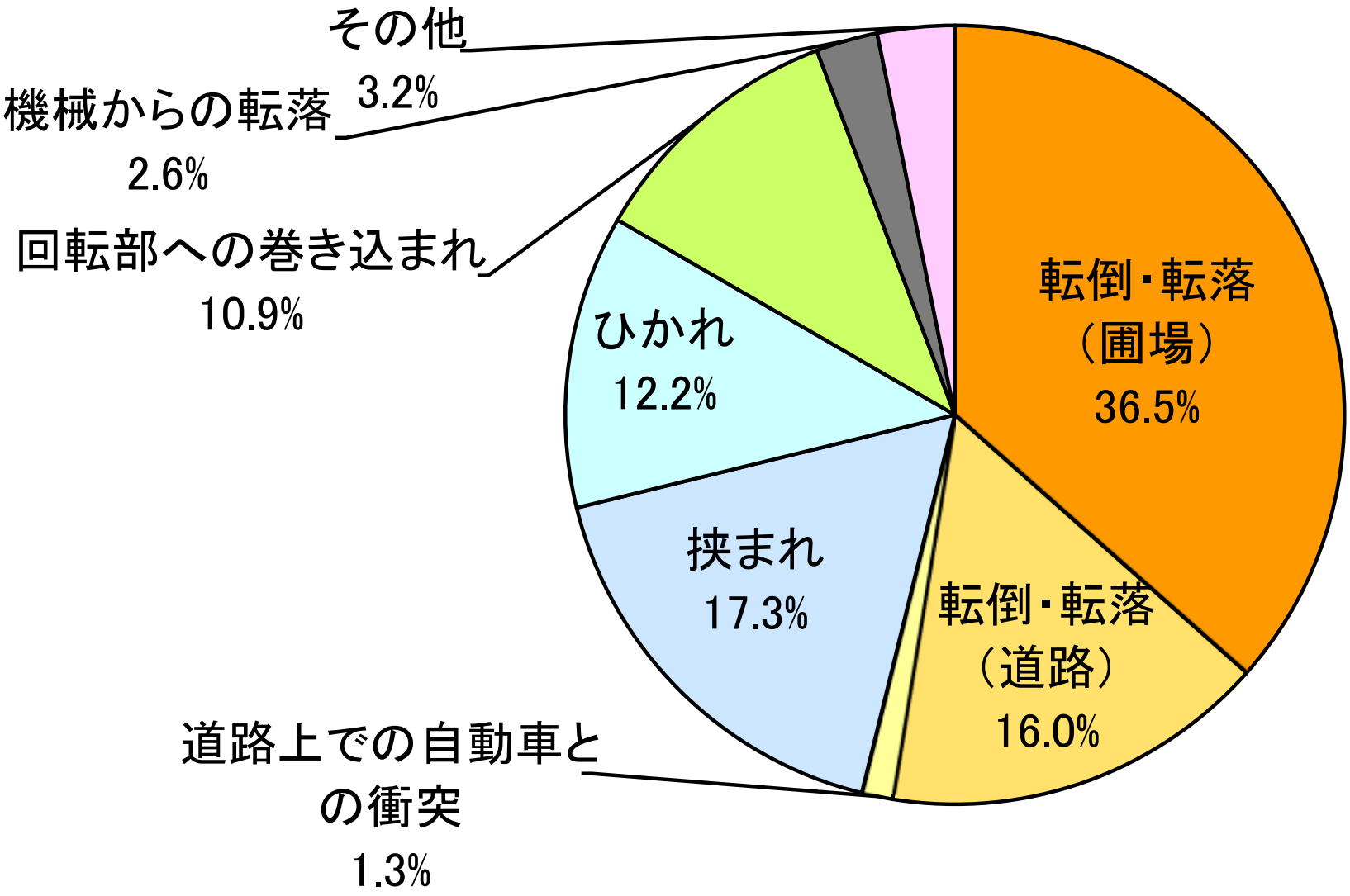
３位←２位

自脱コンバイン

２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.6

農業機械による事故の様態（農林水産省2026）

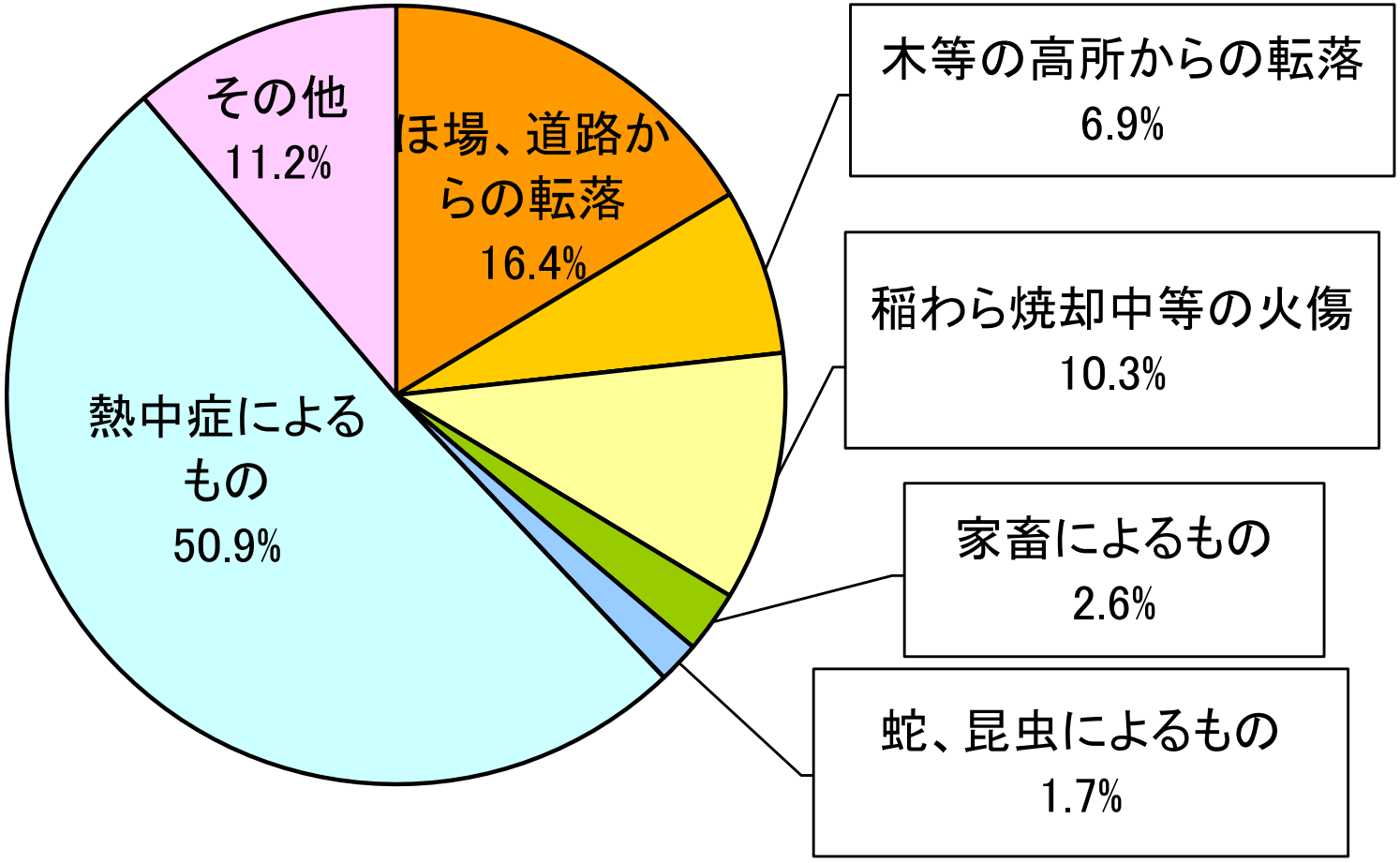


２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.6

農業機械・施設以外による死亡事故の内訳（農林水産省2026）

- 熱中症が急増、10年前の3.1倍（１９件 ⇨ ５９件）
  ⇨ 農作業死亡事故数の増加の一因に
- 建設業（10件）の６倍、10万人当たりでは約１５倍

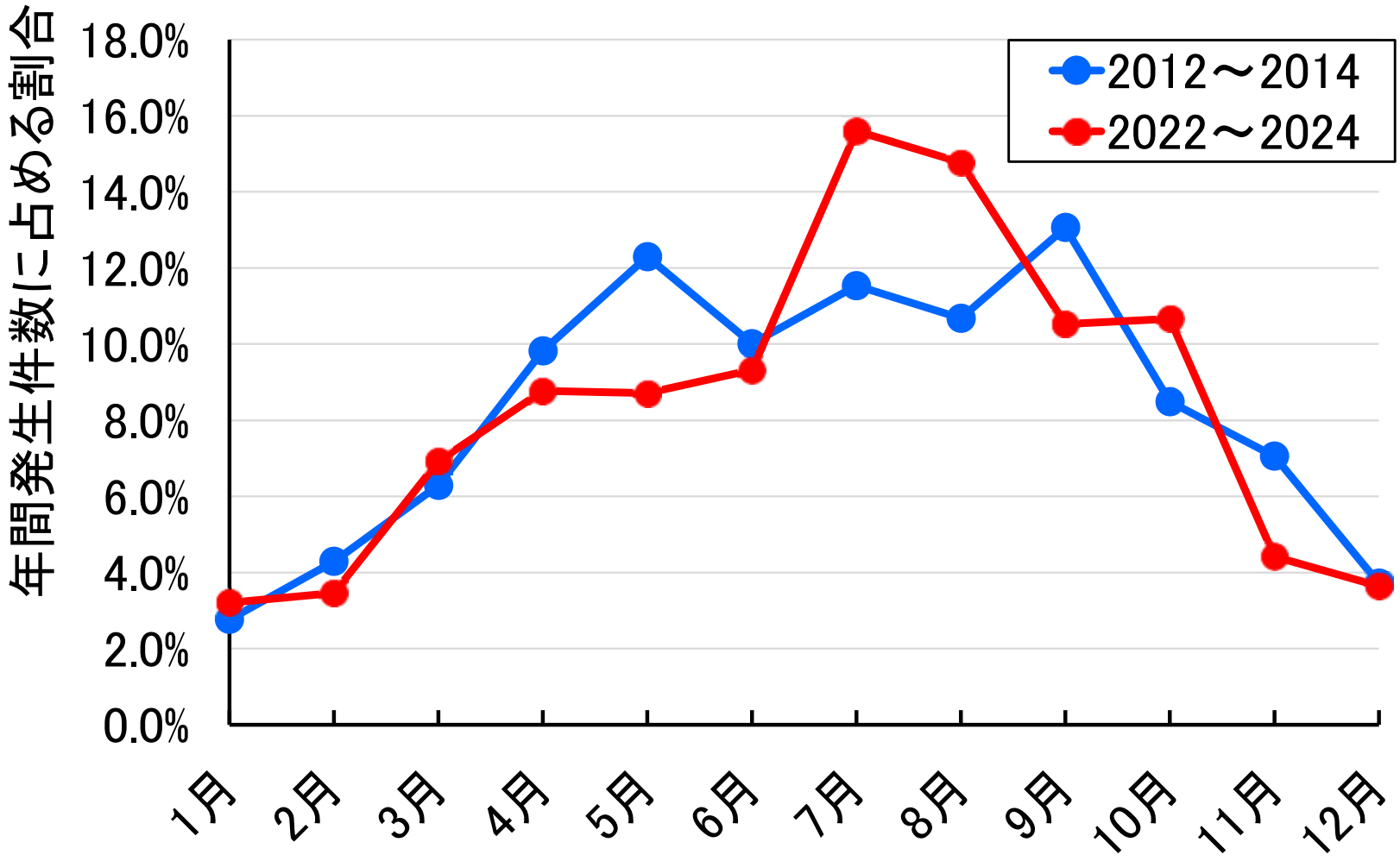


２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
新規

農作業死亡事故増加の背景

- 年間事故件数に占める月別件数割合の3年間平均を10年前と比較すると、春秋ピークから夏ピークへと変化



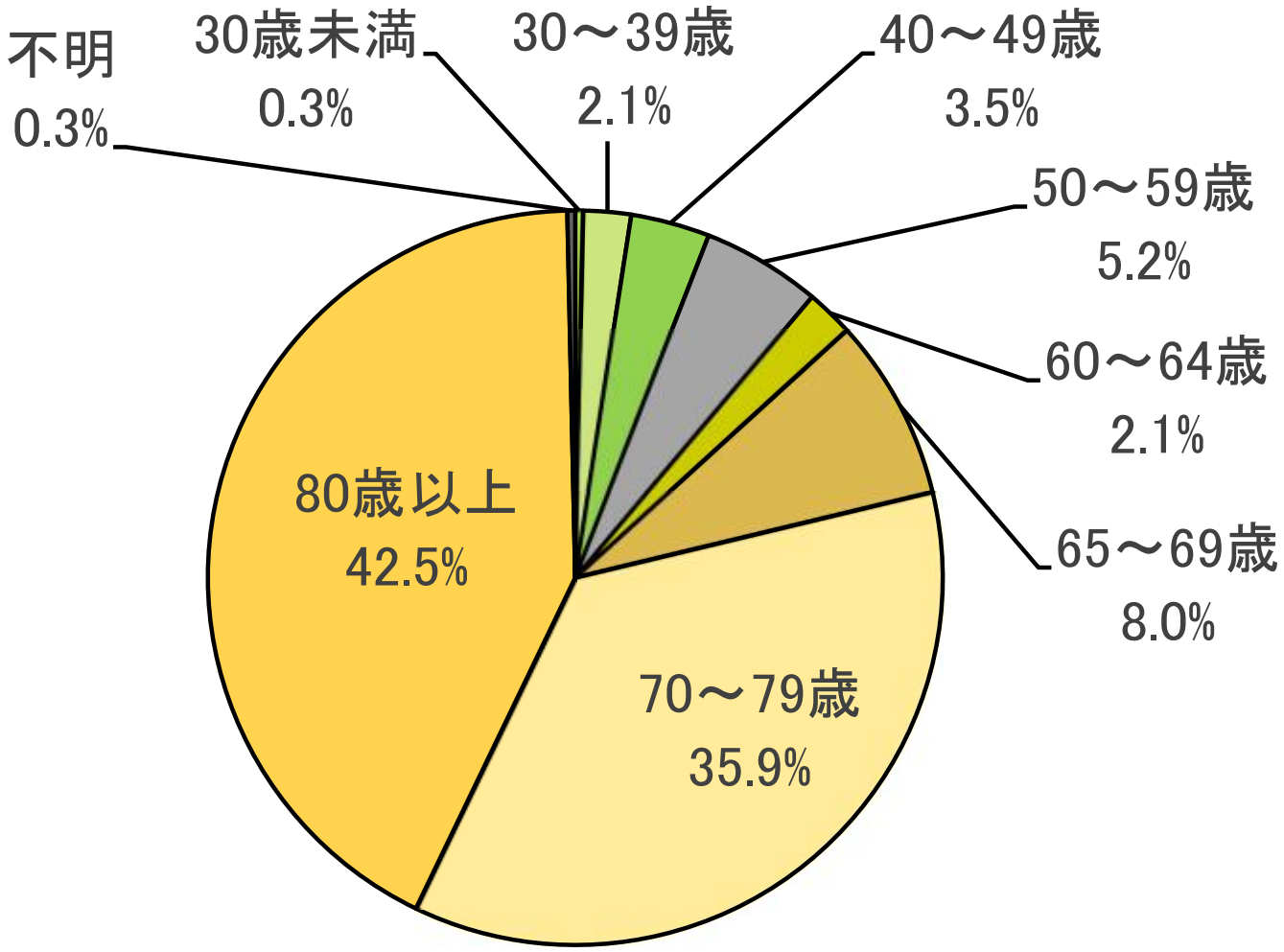
２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.7

農作業死亡事故の統計（2026）

- 年齢層別の推移

65歳以上層が86％

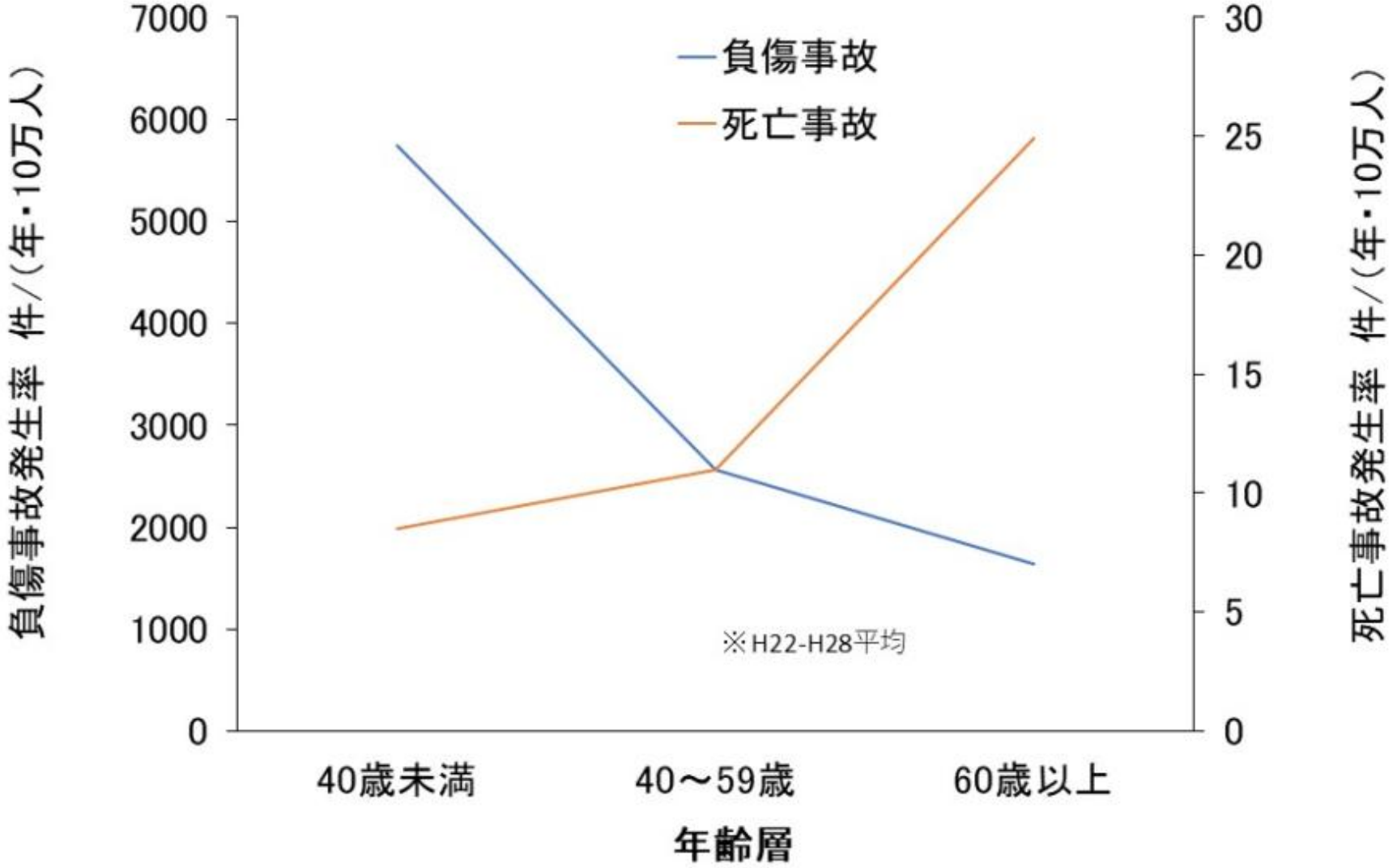


２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.7

農作業死亡事故の統計（2010～2019）

- 若年層の負傷事故発生率はむしろ高い



２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.8

農作業事故が減らない理由ー法律上の問題

農業（家族経営）は労働安全衛生法の適用外となることが多い

労働者を守るため、事業者に安全配慮を義務付ける

- 労基署への事故報告義務がなく、負傷事故の全国調査がない
  農水省の死亡事故調査は、厚労省の人口動態調査の死亡個票から集計、情報量が少なく事故要因の分析が困難
- 事故要因が定かではないので、的を射た対策が困難
- 労働安全について学ぶ機会が乏しく、安全文化が育ちにくい

農作業は「安全よりも能率が優先」

農業機械は「安全よりも価格・性能が優先」という認識が多勢

２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.9～P.10

農作業事故が減らない理由－多くの農業者に見られる傾向

こんな場面を見聞きしたことはありませんか？

●機械に乗る時や高所作業時にヘルメットをかぶらない

●田植機の前部にしがみついて田から出る

●トラクタに小さな子供を乗せて作業する

●ゴーグルをしないで刈払機を使う

●脚立の天盤に乗って作業する

●ハシゴに登って枝を切る・・・など



「もしもの時にどうなるか」に思いが至らず、常識化・常態化

もうそろそろ、この「農業の常識」を変えませんか？

１ 農作業事故が引き起こすもの

テキストページ
P.2～P.3

事故に遭われた方は、どのようなお気持ちなのでしょうか？

これから、３名の被災者の治療後の患部の写真が出てきます

いずれの方も「事故に遭う人がこれ以上増えないよう、この写真で俺たちの気持ちを伝えて欲しい」とおっしゃいました

苦手な方は、目を伏せて話だけ聞いてください。

１ 農作業事故が引き起こすもの

テキストページ
P.2～P.3

Ａさん：ブロードキャスタのアジテータに左足を巻き込まれた



「ケガで済んでよかったと言われるが、想像していた以上に心身がつらい」

Ｂさん：ロールベーラの駆動チェーンに右手を巻き込まれた



「こういう目に遭うのは、自分が最後であって欲しい」

Ｃさん：自脱型コンバインの搬送チェーンに左手を巻き込まれた



「事故に遭って初めて、身の回りに危険がたくさんあったことに気づいた」

１ 農作業事故が引き起こすもの

テキストページ
P.2～P.3

農作業事故によるダメージ

身心への影響

- 治療や後遺症による肉体的ダメージ
- 自分の過失に対する心理的ダメージ

他者を傷つけたときのショックはなおさら大きい

- 高校生アルバイトをトラクタでけん引したトレーラに乗せて移動中、高校生が転落して轢かれた事故
- 幼児をトラクタに乗せて耕うん作業中、転落してロータリに巻き込まれた事故

農作業事故は、これ以外にも大きな影響が・・・

１ 農作業事故が引き起こすもの

テキストページ
P.2～P.3

農作業事故によるダメージ

Dさん（当時５０歳代）
露地野菜中心、作業受託も増え、地域の担い手として嘱望

トラクタのPTOを切らず、駐車ブレーキもかけず、トラクタの後ろで作業していたところ、後退してきたトラクタのロータリに巻き込まれ、右脚を複雑骨折、神経断裂等、車椅子生活に





生命保険しか加入しておらず、
出荷価格の急落とも重なり、
子息の学費捻出にも困窮

離　農
地域の担い手
を喪失

「いつもと変わらない作業だったのに、まさかこんなことになるとは思わなかった」

１ 農作業事故が引き起こすもの

テキストページ
P.2～P.3、P１１

被災者に共通した思いは「自分が悪い」

多くの被災者が「事故の前と後では考え方が真逆になった」と語っていますが・・・

それでも多くの人が農作業事故の怖さを知らないままです

「今さら農作業安全なんて」

「今まで大丈夫だったんだから」

かと言って農作業事故の悲惨さばかりを強調すると・・・

「説教臭くていやだ」

「そういうのは苦手」



道徳的な観点とは別の観点で農作業安全を語っては？

１ 農作業事故が引き起こすもの

テキストページ
P.2～P.3

キーワードその１：農作業事故は、最大の経営リスク

経営リスク
- 自然災害
- 資材費等の高騰
- 生産物価格の下落、等

} 防げない

- 農作業事故 → 防げる！

末永い営農を望むなら、農作業安全は不可欠！

農作業事故の実態を知ること、防ぐにはどうしたらよいのかを知ることが大事

農作業安全研修会などで「安全」の意味を知っていただく必要

２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
新規

農作業安全研修会をやる意味があるだろうか、とお悩みの方へ

ある県の研修会での受講者へのアンケート結果

質問：農作業事故に対する印象　　単位：％

	受講前	受講後
自分には全く関係ない	0.0	0.0
自分にはあまり関係ない	10.5	0.0
自分にも少しは関係ある	31.6	5.3
自分にも大いに関係ある	57.9	94.7

質問：農作業事故への対策　　単位：％

	受講前	受講後
これまでどおりで十分	36.8	0.0
まだやるべきことがある	63.2	100.0

農業者の反応を先入観で判断せず、研修会を開くべき

２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
新規

キーワードその２：安全対策は、コストではなく投資！

例：５Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）の効果は・・

ムダなく、ミスなく、余裕を持って行動できる

作業が効率化する　　危険に気付ける

労働生産性が上がる　　安全になる

安全と収益向上が両立する

５Ｓは安全と収益向上の一丁目一番地

他産業では・・・

安全対策に要した費用１ に対して経済効果は２．７倍

中央労働災害防止協会、２００３

２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
新規

「農作業安全研修会で講師を務めたいけれど、農業機械に詳しくない・使ったことがないので無理」とお思いの方へ

最初から本研修のすべての内容を離せなくてもOK
まずは、自分ができることから

例えば・・・

業務が保険関係なら、労災保険のメリットや加入方法など

労働安全コンサルタントなら、法令関係や他産業での安全対策事例など

農機販売業務なら、機械の安全な扱い方や整備方法など

- 経験を積むうちに徐々に自分の足りない部分を補強
- 研修会の企画者がテーマに応じて講師を選択

２ 農作業事故の現状と課題

テキストページ
P.12

農業作業安全は、一部を除いて法令による規制がない

➡ 農作業安全に関係する法令は2時限目、３時限目で説明

↓

罰則があるからルールを守らなければならない？
罰則がないなら、何をやっても勝手？

↓

農作業安全に取り組むのは何のため？

↓

農業者を守る ＝ 経営を守る ＝ 地域を守る ＝ 日本の食を守る

誰もがそう思える環境を作るには、関係機関の連携が不可欠

「どうせ無理」と諦めてしまったら、それで終わり
一人では無力でも、連携すればできることがある

➡ 現場での取り組み事例を６時限目で紹介

２ 農作業事故の現状と課題

P.9～P.10

- 「農業者を守る法律を作るべき！」という意見があります

もっともですが、法律成立までには長い年月が・・・
その間も被災者は増え続けます

法令問題＊の是非はともあれ、事故対策は待ったなし
現実問題として、自主的に取り組まざるを得ない

将来、法令で規制されても対応できるよう、今から作業環境、作業方法、取組体制、安全意識などの改善・向上を図る必要

＊法令改正の内容については３時限目で説明